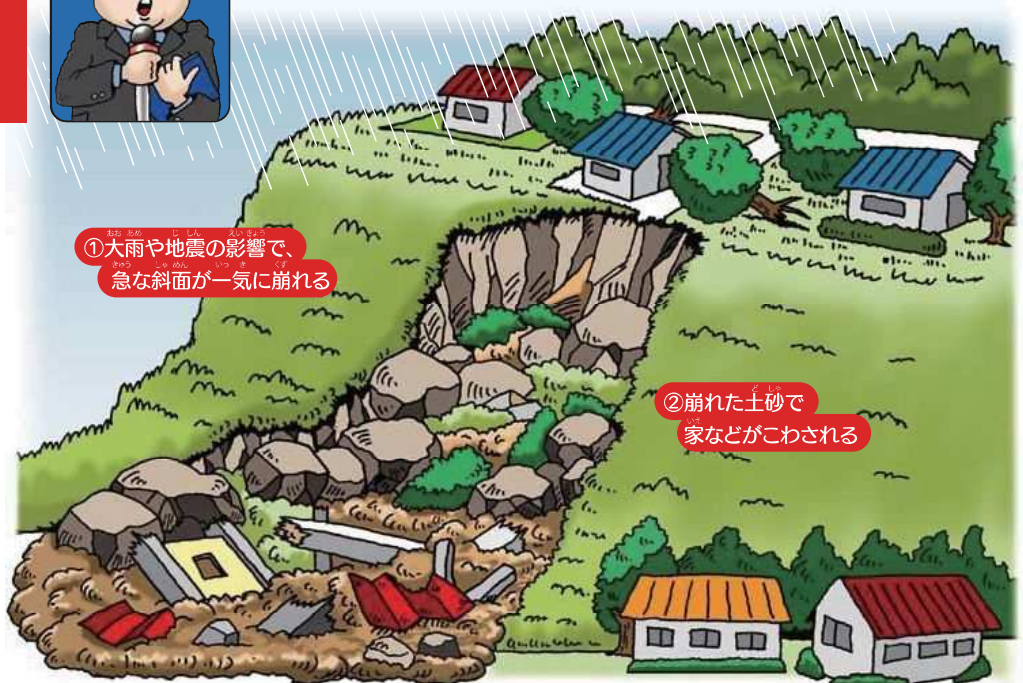


2 土砂災害をくわしく知ろう!

2-2 がけ崩れって何だろう?



がけ崩れは、どうやって起こるの?



①大雨や地震の影響で、急な斜面が一気に崩れる

②崩れた土砂で家などがこぼされる

知っておこう! がけ崩れ発生の前ぶれ

こんな現象が見られたら、とても危ないじゃ。

木がゆれたり、傾いたりする

斜面にひびわれができる

小石がバラバラ落ちてくる

斜面から氷がわきでる

こんながけは注意!

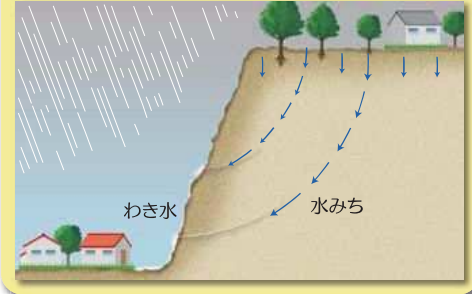
- がけの傾きが30度以上。
- がけの下よりも上のほうから張りが出ている。
(雨が降らなくても地震や強い風などでくずれのおそれがあります。)
- がけの表面に大きな石が飛び出している。

がけ崩れについてもっとくわしく解説しよう!

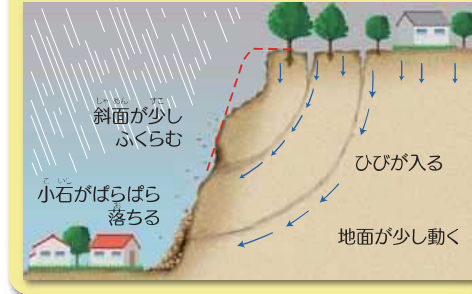


がけ崩れの発生する仕組みはこうじゃ!

① 雨が降り続けると、地面が多く水を含み、地下にたまっていきます。



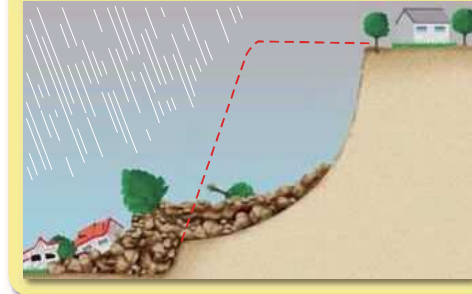
② 水を多く含んだ地面は不安定になり、ひびが入って、少しずつ動きはじめます。



③ 小さなかたまりで、がけが崩れはじめます。



④ 大きなかたまりで、一気にがけが崩れます。



がけ崩れを防ぐ施設ってどんなもの?

急な斜面などを崩れにくくするための施設です。

よう壁工
コンクリートの壁で崩れた土砂を受けとめます。

のり枠工
崩れそうな土砂を取り除いた斜面を、コンクリートの枠でおさえて強くします。



がけ崩れは、大雨や地震などの影響で急な斜面(がけ)が一気に崩れる現象じゃ。がけ崩れは、突然おそってくるので、逃げ遅れてしまうことが多いじゃよ!



アンカー工 のり枠を地中深くの硬い地盤に金具(鋼材)でつないで、斜面を強くします。